

# i SHARE

2022

Nov.

## Management Information

- ・ 戦略ダッシュボードのススメ：財務分析

## Special Feature

- ・ デジタルワークスペースを実現するCisco Meraki 第4回：  
MerakiとCiscoUmbrellaの連携

## About INFINITY / improve

- ・ お役立ち情報：バックキャスト思考
- ・ デジタルツールマッチングイベント登壇

## Technical Information

- ・ 無線LANアクセスポイントYAMAHA『WLX222』

## モノ提供からコト提供へ

2022年も年末が近づいてきました。ロシアによるウクライナ侵攻やおよそ32年ぶりの円安など、経済的に不安な状況が続いています。まさにVUCA時代を象徴する一年でした。



VUCAとは、あらゆるものを取り巻く環境が変化し、将来の予測が困難な状況を意味する

- ・ Volatility（変動性）：どのような変化が起こっていくのかが予測不可能な、変動が激しい状態
- ・ Uncertainty（不確実性）：私たちを取り巻く環境がどう変化していくのかがわからない状態
- ・ Complexity（複雑性）：様々な要素が複雑に絡み合い、単純な解決策を導き出すのが難しい状態
- ・ Ambiguity（曖昧性）：絶対的な解決方法が見つからない曖昧な状態

の頭文字をとった造語で、元々は軍事用語でしたがビジネス用語としても利用されています。将来予測が困難な現代では、今までの経験則や成功例から未来を考える「バックミラー思考」を捨て、現状の課題や実績から考える「フォアキャスト思考」のさらに先、将来のあるべき姿から考える「バックキャスト思考」で戦略を考えていく必要があります。

インフィニティにおいても、思考錯誤の1年を経験し、戦略を一から見直しました。15周年を迎えたことをキッカケに、改めて自分たちが将来どうあるべきか、そして顧客である中小企業にどうあって欲しいかを考え、モノ（ライセンスや作業など）の提供からコト（課題の解決だけでなく、顧客の目指す目的/ゴールを達成する手助けをする）を提供できる会社へと変革しようとしています。

新しく開始したサービスとして

- ・ 協同WEBサイト作成 : 2社の事例
- ・ 戦略ダッシュボードコンサルティングサービス : 1社の事例
- ・ 運用コンサルティングサポート : 3社の事例

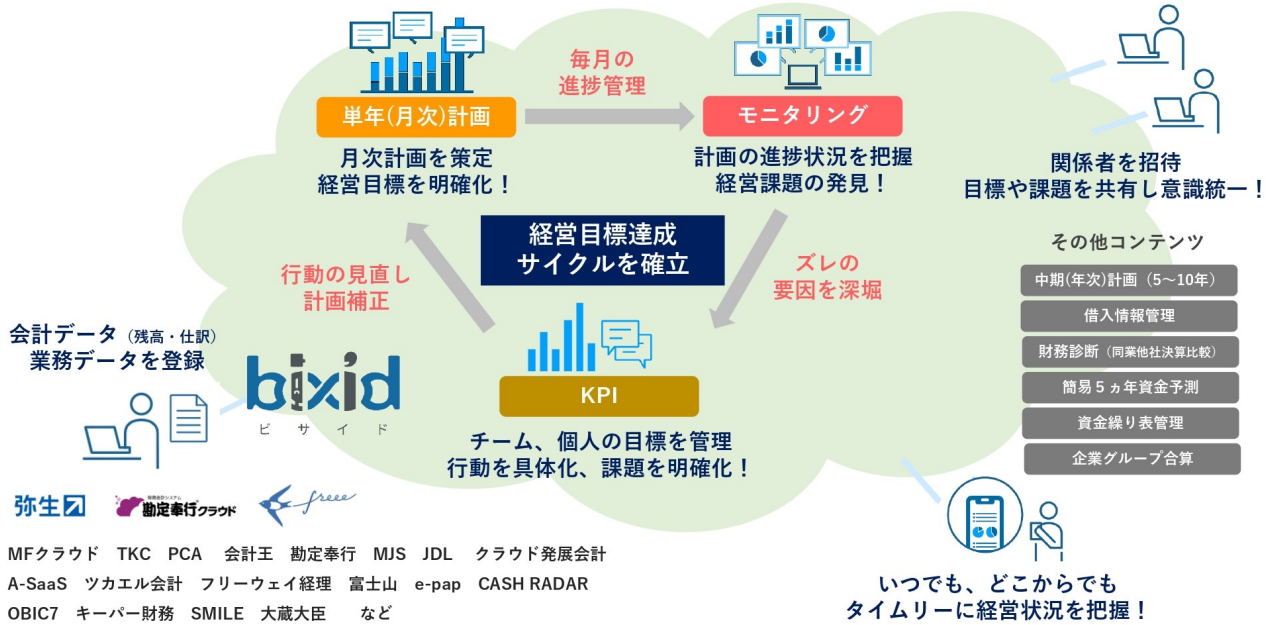
が増え、さらに包括的なサービス『プレDXコンサルティングサービス』を開始します。

※プレDXコンサルティングサービスに関しては次号（謹賀新年号）にてご紹介させていただきます。

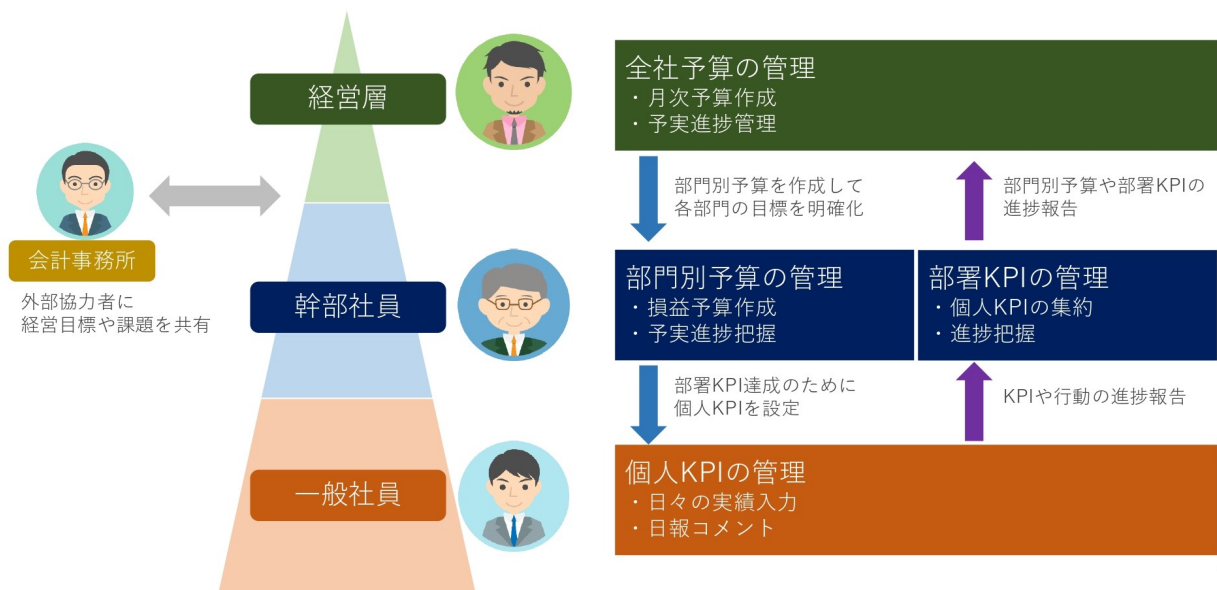
キーワードは「変革（トランスフォーメーション）」。常に変わり続ける環境を乗り越える柔軟な組織を目指し、成功したことや失敗したことも含めて、皆さんに活きた経験や情報を届けていけるようさらに努力をしていきたいと思えます。

前回、「戦略ダッシュボードのススメ」として、業務/財務の両面から分析していくことをオススメしました。今回は、「財務分析」をスグできるクラウドサービス「bixid（ビサイド）」をご紹介します。

★bixid（ビサイド）とは？



bixidは会計データを基にして、経営報告をビジュアルで表現し、鋭い現状分析から経営課題の解像度を高め、経営判断の「次の一手」を加速させる『経営支援クラウド』サービスです。通常、BI（ビジネスインテリジェンス）を利用した分析を行うためには、「データ」が必要です。その「データ」がなかなか準備ができないため、なかなか分析まで手が回らないという話をよくお聞きします。しかし、bixidでは会社に必ず持っている会計データを基にするため、導入初日から分析を開始することができます。



社内で会社の数字を共有し、共通言語にすることで経営計画を社内に共有する手助けになります。



★主な機能：経営計画

### 月次予算・年次予算策定でビジョンを明確化

- ・エクセル感覚で扱える操作性
- ・予算自動作成機能によるアシスト
- ・前年数値と取引明細の参照
- ・部門別での予実機能
- ・予算策定根拠の記録
- ・重要アクションのToDo登録

**2020年12月 給料手当**

相手科目	区分	借方金額	貸方金額	金額	摘要
未払金	仕入入力	300	300		営業スタッフ新規採用
未払金	仕入入力		400	-100	山形郡職
普通預金	繰越残高	3,120		3,020	発生
<b>合計</b>		<b>3,420</b>	<b>400</b>	<b>3,020</b>	

**計画根拠**

**コメント、ToDo登録**

★主な機能：モニタリング

### 月次予実比較（モニタリング）

- ・モニタリングフローに沿って要因分析
- ・顕在化した課題の記録

**① 経営結果把握**

**② 要因分析**

**③ 要因、課題記録・共有**

**取引明細**

**コメント**

**科目別推移**

**予実ダイジェスト**

★主な機能：KPI

KPI管理で経営課題をより明確化

- ・業種、用途別テンプレートから選択
- ・自由設計も可能

**商談成果**  
[2021/4/1 ~ 2022/3/31]

商談件数と成約・失注数を管理して商談件数の増加や成約率を向上させる

●【実績】商談数 ●【実績】成約数 ●失注数 → 成約率 → 商談目標達成率

項目名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過累計	平均
【実績】商談数	19	15	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	17
【実績】成約数	6	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	6
失注数	13	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	11
成約率	% 31.6%	% 40.0%	% 42.9%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 35.3%	% 35.8%
商談目標達成率	% 95.0%	% 60.0%	% 84.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 0.0%	% 75.6%	% 77.5%

★主な機能：スマホアプリ

スマホアプリで進捗管理

- ・いつでもどこからでも経営状況を把握
- ・意思決定の高速化



★その他機能：多彩なシミュレーション



会計/財務の確かな数字からシミュレーションを行うことで、様々な視点から分析が可能になります。会計ソフトは通常、経営者/経理担当しか確認できないケースが多々あります。会議や四半期ごとに都度資料を作成する必要があったり、リアルタイムに会計/財務情報が見られないストレスがあるのではないのでしょうか？ bixidを利用することで、会計/財務情報に触れるユーザーを増やし、経営者だけでなく、幹部/スタッフのそれぞれが常に数字を確認し意識することで、コスト意識や目標達成への意欲を上げていくベストなツールではないでしょうか。

インフィニティはbixidの代理店になっておりますので、ご興味があれば是非ご相談下さい！

# デジタルワークスペースを実現するCisco Meraki 第4回： MerakiとCisco Umbrellaの連携

## Special Feature

「iSHARE 5月号」では、ゼロトラストを実現しながらデジタルワークプレイスを構築できるCisco Merakiシリーズの概要をお伝えしました。最終回の第4回は、Merakiとクラウド型セキュリティのCisco Umbrellaとの連携についてお伝えします。

### クラウド型セキュリティ「Cisco Umbrella」

まずは、「Cisco Umbrella」についてご説明します。Cisco Umbrellaは、インターネット上の脅威を防御するための最前線として機能する「セキュア インターネット ゲートウェイ (Secure Internet Gateway (SIG))」です。DNSレイヤのセキュリティをベースに、セキュアWebゲートウェイ (SWG)、クラウド提供型ファイアウォール、クラウドアプリセキュリティ制御、サンドボックスも含めた、幅広いセキュリティサービスを提供しています。本社、拠点などの場所、移動中、VPNの「ON/OFF」を問わず、あらゆるユーザ、そしてデバイスを保護できる、最も簡単かつ迅速に導入可能なクラウドセキュリティです。

#### DNSレイヤセキュリティをはじめ、いま必要な対策がすべて揃ったクラウドセキュリティ



Cisco Umbrella は、DNS レイヤセキュリティをはじめ、フルプロキシ、クラウド提供型ファイアウォール、クラウドアプリセキュリティ制御、サンドボックスなど、いま必要な対策がすべて揃ったクラウドセキュリティです。Cisco Talosなどの脅威インテリジェンスと連携し、DNS および URL ベースで危険なサイトへの通信をブロックします。

#### 設定からサポートまで日本語対応

直感的に操作できる、わかりやすい Web ベースのダッシュボードに加えて、マニュアルやサポートも日本語対応。手軽に導入可能、かつ安心して運用可能です。

#### 高速! DNS パフォーマンス

Cisco Umbrella は、純粋な DNS サービスとしても非常に優れたパフォーマンスを誇ります。Prospect One 社が提供する DNS パフォーマンス分析「DNSPerf」のパブリックDNS リゾルバ部門では、常に上位にランクインしています。

#### どこにいても、あらゆるデバイスをカバー

インターネット利用に欠かせない DNS レイヤセキュリティであることから、インターネットを利用するあらゆるデバイス、あらゆるネットワーク（場所）に適用可能なため、働き方改革に取り組む企業に最適です。



また、ファイアウォールやアンチウイルスのような既存のセキュリティと競合または重複することなく、簡単にアドオンしてネットワークの防御を強化できます。

#### 【クラウドセキュリティだからできる！利用シーン】

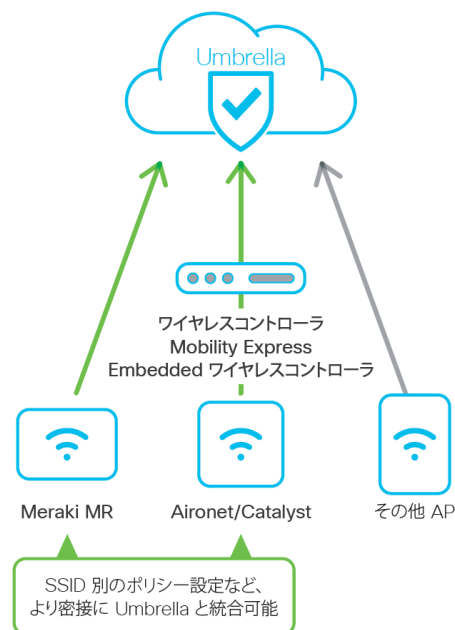
- ・ 既存環境はそのまま全社のネットワークに簡単に導入したい
- ・ 働き方改革に！オフィス外の社員をVPNなしで保護したい
- ・ かんたんにアクセスポリシーを設定したい
- ・ シャドーITを見える化したい
- ・ Wi-Fiセキュリティを簡単に強化したい
- ・ 拠点からの直接インターネットアクセス (DIA) をセキュアにしたい

### MerakiとCisco Umbrellaの連携

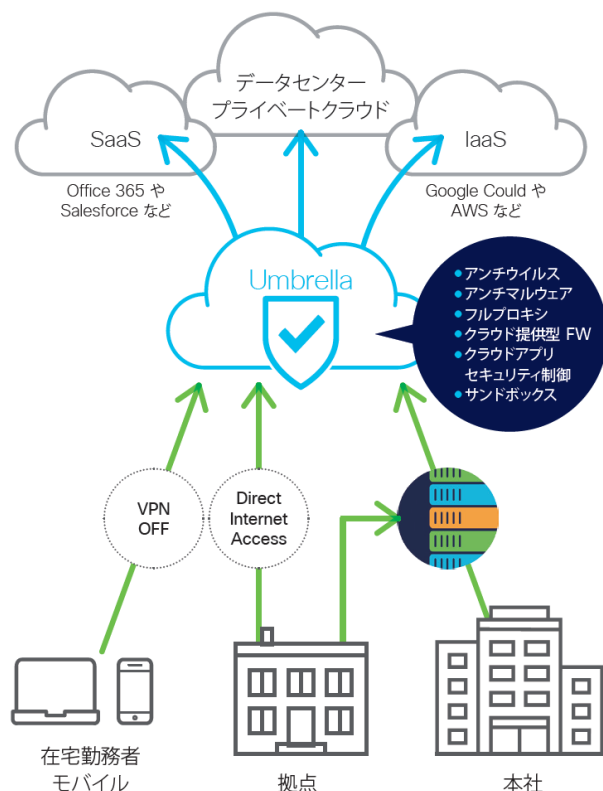
#### Wi-Fiセキュリティ強化

Cisco Umbrella WLANパッケージです。ワイヤレスアクセスポイント 5 台分のライセンス数から購入可能で、アクセスポイントに接続するユーザ数の制限なく保護できます。

また、Cisco Meraki MR クラウド管理型ワイヤレスアクセスポイント、シスコ ワイヤレスコントローラ、Cisco Mobility Express、および Cisco Embedded ワイヤレスコントローラでは、Cisco Umbrella と管理ツールレベルでの統合が可能です。たとえば、Meraki ダッシュボードから直接、SSID や既存のグループポリシーに Umbrella ポリシーをリンクできます。



#### 直接インターネットアクセス (DIA) をセキュアに



VPNで本社と拠点を結んでいても、拠点からのインターネット接続では、限定された帯域幅や遅延によって概して低速なVPNによってもたらされる、アプリケーションパフォーマンスやサービス品質の低下を回避するため直接インターネットアクセスを行うことが増えています。

このような時に、Cisco Umbrella なら、このような課題に悩まされることなく、低コストかつシンプルに導入および運用可能です。また、Cisco ISR 1100/4000 シリーズ、Cisco Meraki MX シリーズ、Cisco Viptela OS ルータなどと連携することで、フルプロキシやクラウド提供型ファイアウォールなどセキュア インターネットゲートウェイ (SIG) のフル機能を、必要な拠点に展開できます。

全4回にわたってCisco Merakiシリーズをご紹介して参りました。いつでもどこからでも同じ環境で快適に働くことができ、生産性を高める仕事空間であるデジタルワークプレイス (DWP) の実現にとっても有効だとご理解いただけましたでしょうか。コロナで手を付けざるを得なくなったテレワークをきっかけに働き方が変化しています。

連携が豊富でかつ分かりやすいMeraki製品にご興味を持たれましたら、インフィニティまでご連絡ください。



冒頭の挨拶にて記載した「バックキャスト思考」を詳しくご紹介していこうと思います。

### バックキャスト思考とは？

過去の実績や現状、課題から未来を考えるのではなく、「ありたい姿/あるべき姿」を描いた上で、そこから逆算して『いま何をすべきか』を考える思考法のこと。

### バックキャスト思考が生まれた背景は？

バックキャスト思考は1970年代に環境問題がきっかけで生まれた言葉だと言われています。地球規模で開発が加速し、環境の悪化に危機感を抱いた科学者たちが警鐘を鳴らし、さまざまな研究報告を発表してきました。その中で登場したのが、「この先も永く人類が生存し続けられる地球の状態とはどのようなものを定め、環境に影響を及ぼす開発や経済活動はその地球の状態を維持できる範囲内にとどめよう」という発想です。そしてこの発想にともない、バックキャストという言葉が使われ始めました。

### バックキャスト思考の特徴とメリットは？

#### ①正解がない「やっかいなテーマ」にもアプローチしやすい

バックキャスト思考では、誰も答えを持っていない「未来」に焦点を当てて、理想像やありたい姿を描いていきます。そこに正解はなく、メンバー全員で決めたことが行動につなげていくべき「答え」になるのです。このことから、不確実性が高く正解のないテーマ（やっかいな問題）であふれている昨今だからこそ、ビジネスにバックキャストを取り入れようとする企業が増えてきていると言えます。

#### ②まったく新しい発想から、解決策や戦略を生み出しやすい

バックキャスト思考では、制約なく自由な発想で思考をすることができます。そのため、現状や課題から積み上げ式で解決策を検討していくよりも、利害関係や現状にとらわれないポジティブな雰囲気の中で、これまでにない解決策が生まれやすくなります。

#### ③高い成果を創出できる組織変革につながる

バックキャスト思考は、フォアキャスト思考で設定するよりも高い目標が設定されるため、行動が伴うと、遥かに高い成果が出やすいと言えます。自ら問いや課題・目的を考え主体的に行動できる人材や、自律的な組織が求められる昨今、バックキャスト思考を体得していくことは、不確実性に対処しながら持続的に高い成果を出せるチーム、すなわち、自律型組織への変革の一助になるでしょう。



DXビジョン策定に利用されているバックキャスト思考を戦略策定に利用してみたいかがでしょうか。



2022年12月にあいち産業振興機構様が主催されるデジタルツールマッチングイベント「DX支援」にて、ZohoONEについてお話する機会をいただきました。登壇される企業はほぼ大手のため、その中でお話できる機会はありがたくもあり、恐縮でもありますが、お声掛けいただくのはありがたいですね。もし、お時間が合うようでしたらご参加下さい！

イベント名：デジタルツールマッチングイベント「DX支援」

URL：<https://www.aibsc.jp/support/23259/>

日時：2022年12月8日（木）10時～15時10分

2022年12月9日（金）10時～15時10分

会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）18階

セミナールーム（名古屋市中村区名駅四丁目4番38号）またはオンライン

対象者：中小・小規模事業者

プレゼン企業：各日11社（合計22社）

参加費用：無料

### 【概要】

自社のデジタル化・DXの推進にあたっては、デジタル技術の導入や利活用に関心があるものの、「どんなツールがあるのか分からない」「どんなツールが自社に向いているのか分からない」などといった課題があるのではないのでしょうか。そこであいち産業振興機構では2日間にわたりデジタルツール提供事業者が一堂に会する「デジタルツールマッチングイベント」を開催します。

主にバックオフィス系のツールを中心に、各ツール提供事業者が自社のツールをPRします。

一度に複数のデジタルツールを知ることができる機会となっておりますので、デジタルツールの導入を検討されている中小・小規模事業者の方はぜひご参加ください。

### 12月8日（木）

プレゼン企業
株式会社ITCS
アズウェル株式会社
株式会社インフィニティ
株式会社システムリサーチ
株式会社ソフトテックス
株式会社ネオジャパン
株式会社ユニオンソフトウェアマネジメント
中部テレコミュニケーション株式会社
日本システム開発株式会社
株式会社富士通ラーニングメディア
弥生株式会社

### 12月9日（金）

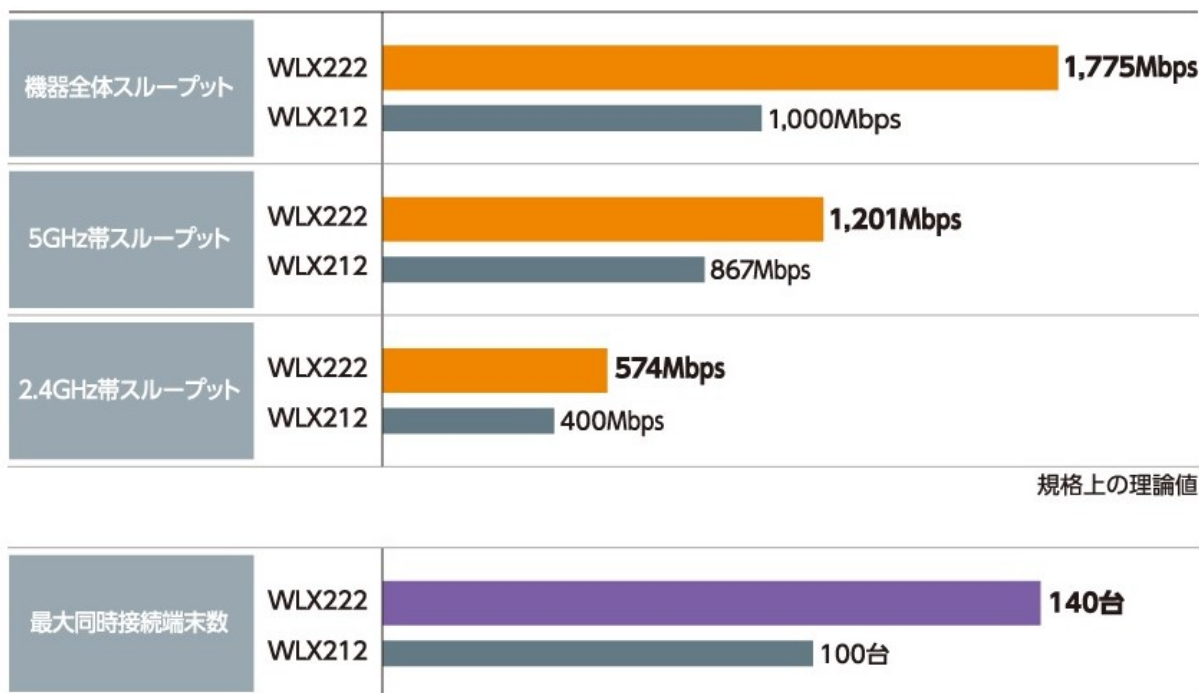
プレゼン企業
株式会社SmartHR
株式会社マネーフォワード
株式会社オービックビジネスコンサルタント
応研株式会社
クロノス株式会社
弁護士ドットコム株式会社
株式会社ディーエスブランド
株式会社建設ドットウェブ
株式会社建設システム
福井コンピュータホールディングス株式会社
リコージャパン株式会社

YAMAHAから、シンプルな無線LAN管理を実現するWi-Fi6による高速通信に対応したエントリーモデル『WLX222』が2022年10月に発売されました。

昨今、企業で扱うデータやコンテンツの大容量化やコミュニケーションツールの高機能化などが通信帯域を圧迫していることに伴い、無線LAN環境の高速化のために、無線スループットが1ギガビットを超える「Wi-Fi6対応無線LANアクセスポイント」のニーズが拡大しています。



### «より多くの端末に、高速で快適なWi-Fiを提供»



『WLX222』は、Wi-Fi6に対応しており、5GHz帯では1201Mbps（理論値）のスループットを、2.4GHz帯では574Mbps（理論値）、無線全体で最大1,775Mbps（理論値）のスループットを実現します。従来機種であるWi-Fi5製品「WLX212」と比べて約1.8倍（理論値）の高速通信が可能なので、より多くの端末に高速な通信環境を提供できます。また、有線LANは2.5ギガビットポートを搭載しています。

#### その他

- ・トラブルを未然に防ぐ「Radio Optimization機能」を搭載
- ・YNO（Yamaha Network Organizer）で統合管理を実現
- ・障害解析に役立つ無線LANの「見える化」機能を搭載
- ・内蔵RAIDUSサーバーを搭載

上記製品にご興味ございましたら、インフィニティまでご相談ください。



パソコンで日本語を入力するときに使うのは、「IME」が一番有名かと思います。Windowsのパソコンを購入すると、基本的についてくるものなので、IMEを使っている意識のない方も多いかと思います。私の若かりし頃はワープロソフトを一太郎から入ったので、ATOKを使ってました。IMEはWindowsに付属しており、ATOKは一太郎に付属している言語を入力するためのプログラムです。



## 思いどおりの日本語入力

Google 日本語入力は、変換の煩わしさを感じさせない  
思いどおりの日本語入力を提供します。

ここ数年、使いやすいと聞くのが「Google日本語入力」です。お客様から入れて欲しいとの依頼もあります。Google日本語入力の一番の利点は、「サジェスト機能」

です。つまり、予測変換ですね。最近では、スマートフォンの入力時には予測変換を利用しているので、パソコンでも予測変換ができると便利です。実は、IMEにもだいぶ以前より予測変換機能はありました。それでも、Google日本語入力の方が便利だと言われるのは、Google日本語入力の予測変換がインターネット上から自動的に辞書を生成していることです。新しい用語や最新の固有名詞に対応したり、間違った読みで入力しても正しい読みを表示してくれる点が便利だと評判なようです。

IMEは慣れていることもあり使いやすいと思います。文章を書くことが多い業務をされているのであれば、Google日本語入力の予測変換を一度使ってみると便利だと感じるかもしれません。

クラウドサーバーへのインストールは、ササエルサポートまでご連絡ください。

# 2022

# Nov.

## iSHARE

編集・制作

安藤 玲子

### あとがき - Editor's Note

いつもiSHAREをお読みいただきありがとうございます。あと1か月もすると2022年も終わりますね。奇数月にお届けしているiSHAREですが、なんだかあっという間に6冊目になった気がします。年賀状を準備したり、ふるさと納税の書類を作成したり、来年の抱負はどうしようかなとか考えてたら新年になっているんだろうなあ…

今年こそは、今年こそはと3年経っても終わっていないコロナ。もうコロナの話題を口にするのも減っているような気がします。このあとがきを書いている今は第8波が話題です。世間の我慢が利かなくなったのか、インフルエンザと同じくらいの扱いになったのか、街には人が出ていますね。旅行に行ったという話もチラホラと。周りを見ながら、自分もどのタイミングで…と思っている方も多いはず。私も、旅行がしたいと思いながら、周りを見ながら日付以外の計画だけを考えています。

皆様は、新年どのように過ごされますか。私はまだ様子を見ながら実家に行くくらいです。